



知事就任に対する 挨拶

自由民主党
田村 琢 実

大野知事の再任に対し、埼玉県議会を代表いたしまして、一言御挨拶申し上げます。

大野知事、第62代埼玉県知事御就任おめでとうございます。

大野知事は、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現を目指し、DXの重点的推進、スーパー・シティプロジェクトの推進、レジリエントを意識した災害に強い技術やエネルギーの強靱化などによる安全・安心の向上など、人生100年時代にふさわしいまちづくりを訴え、埼玉県知事に再選されました。投票率は下がったものの、100万を超える得票を得られ、県民の大きな期待が寄せられたところであります。

一方、我々自由民主党議員団もこの春の統一地方選挙において、県民の皆様に寄り添う政策を立案し、実現してきた実績をしっかりと訴えた結果、大きな信頼と期待を寄せていただき、改選前を大きく上回る議席を頂戴することができました。新たな仲間とともに引き続き県議会最大会派として、埼玉県の発展のため、行政監視はもとより積極的な政策立案を通して県政をリードしてまいる所存であります。

現在、我が国は人口減少社会へと突入しています。その中で、県内には多くの課題が山積しているところであります。医師不足対策、それに伴う順天堂大学医学部附属病院の早期開設。働き方改革に伴う建設業や運輸業等の2024問題。激甚化する豪雨やいつ発生するか分からない大地震などの災害対策。老朽化著しい県有施設の更新と県庁建て替えなど、県民の安全・安心の向上と共に更なる住み良い環境づくりが求められています。

二元代表制のもと、執行部と議会は車の両輪とよく例えられます。これら多くの課題に対し、共に知恵を出し難局を乗り越えて、県民の期待に応えて行

かなくてはなりません。馴れ合いではなく、是々非々で様々な施策に取り組んでまいり、それが、「日本一暮らしやすい埼玉」として県民が実感できる社会が実現できればと思います。

大野知事の執行者としてのリーダーシップに期待し、県議会を代表しての御挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。